

関東大震災から100年 もう一度見直そう 身近な 防災対策

関東大震災横浜市写真帳



大規模災害から「いのち」を守るためには、過去の教訓を生かして、事前の備えを怠らないことが重要です。災害への備えで真っ先に思いつくのが水や食料の備蓄ですが、意外と見落としがちなのが、トイレ対策です。

大規模災害時には、断水によりしばしば水洗トイレが使えなくなることがあります。私はキャスター時代に阪神・淡路大震災取材しましたが、避難所のトイレが詰まってとても不衛生な状況下で、被災者の方々は大変な苦勞をされていました。中には、トイレの回数を減らそうと食事や水分を控え、体調を崩される方もいらっしゃいました。

この問題に対処するため、県では大規模災害に備えた「トイレプロジェクト」を推進しています。具体的には、避難所や防災拠点となる県有施設のトイレを改修するほか、在宅避難者用の携帯トイレについて、県の備蓄を強化します。また、市町村による避難所の仮設トイレや簡易トイレ等の備蓄を支援します。県民の皆さんには、ご自宅での簡単なトイレの作り方もお伝えしていきます。

大規模災害の影響を最小限に食い止めるため、こうした被災時における生活環境を改善する事業にもしっかりと取り組んでまいります。

神奈川県知事 黒岩祐治



災害を知る、備えることが大切な人のいのちを守ります。

まずは耐震化と家具の固定

巨大地震が起きたらどうすることもできないと思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、**耐震性のある建物に住み、家具などを固定**することで命を守ることができます。耐震性がない場合は、余震で倒壊する恐れもあるので、とにかく**避難することが大切**です。

小さなことから始めてみよう

とはいつても、耐震化などの対策をすぐにするのが難しい場合は、簡単なことから始めてみるというですね。まずは、**家の鍵にLEDライトとホイッスルを付ける**だけでもいい。その一歩は防災への意識や行動を変え、防災への二歩目、三歩目につながります。

備蓄は水・食料とトイレをセットで

多くの家庭で飲料水や食料を備蓄されていますが、**携帯(簡易)トイレを備蓄している方は圧倒的に少ない**印象を持っています。

発災しても、自宅が安全な場所であれば避難所に行く必要はありません。自宅を最高の避難所にするために備えておく必要があります。

大切な人のことを具体的にイメージして見て離れて暮らす高齢の両親や、子どもが登下校している時など、**自分が大事だと思う人のことを具体的に、またさまざまな状況を想像**して防災に取り組むことで、災害から多くの命が守れます。



命を守る3つのポーズ

詳しくはこちら



子どもたちの防災教育にも熱心に活動されている大木氏。

年齢に関係なく、この3つのポーズを覚えておくだけでもいざという時に自分の身を守る助けになります。

ダンゴムシのポーズ (地震:机がない時)



- 1 大きな危険にお尻を向ける
- 2 ひざと足の甲を床につける
- 3 両手で頭を守る

サルのポーズ (地震:机がある時)



- 1 机の下にもぐって頭を守る
- 2 両ひざを床につけて机の脚の上の方を持つ
- 3 脚が4本あれば斜めに持つ
- 4 机が大きくて腕が届かない場合は、机の脚のひとつを両手でしっかりと持つ

アライグマのポーズ (火事の時)



- 1 姿勢を低くする
- 2 ハンカチまたは服で、口と鼻をおさえる

©慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス 大木聖子研究室

耐震性のある建物の中で、高い棚や重い物が上から落ちてこない環境にいる場合に、落ちてくる小物や破片、煙などから身を守るためのものです

家族で事前にチェック!

慶應義塾大学環境情報学部 准教授
専門:地震学・災害情報・防災教育
おおき さとこ
大木 聖子氏

スマホや携帯電話よりも
電池が長く持つラジオは
情報収集の強い味方



地震防災チェックシートで確認しよう

- 現金・身分証明書等の貴重品 (現金は小銭も)
- 携帯ラジオ (FM/AM両方聴けるもの、予備電池も)
- 懐中電灯 (できれば一人一つ、予備の電池と電球も)
- 救急薬品・常備薬・持病の薬とお薬手帳
- 非常食・飲料水 (レトルト食品や缶詰等火を通さなくても食べられるもの、水筒、紙皿やコップ等)
- その他 (衣類、タオル、マスク、携帯電話(バッテリーも)、予備の眼鏡等)
- 食料 (アレルギーのある方はアレルギー対応の備蓄食)
- 水 (飲料水は大人一人当たり1日3ℓが目安。生活用水確保のため、お風呂やポットに水を入れておく。)
- 燃料・その他 (卓上コンロ、固形燃料や予備のガスボンベは多めに用意。アウトドア用の携帯コンロも便利。その他洗面用具、携帯(簡易)トイレ、生理用品、キッチン用ラップ、歯ブラシ、ビニール袋、新聞紙、使い捨てカイロ等)

1次持出品

2次持出品

避難する時に
最初に持ち出す
もの

避難場所
まず危険から逃げるために
向かう公園や建物など

避難所
自宅での生活が困難になった時に
しばらく生活する施設

調べておきましょう
あなたや家族の避難先

避難する時にまず持ち出すのは
男性15kg 女性10kg程度が目安

災害時、電子マネーやクレジットカードが
使えないこともあるので、**現金を用意**



忘れがち!
乳幼児のミルク、哺乳瓶、おむつ、バスタオル等
要介護者の着替え、おむつ、障害者手帳、
持病の薬・常備薬等



ラップをお皿に巻いて使えば洗い物の
水がなくても大丈夫



巨大地震に備え、マイホームを耐震化しましょう!
地震から身を守るためには、自分の家が安全かどうかを知ることが大切です。
積極的に専門家の耐震診断を受け、必要があれば早めに改修しましょう。
耐震診断や耐震改修工事に県および市町村の補助制度を活用できる場合があります。
詳細はお住まいの市町村担当課にお問合せください。



屋内の危険箇所を確認しましょう!
家具・家電やガラス窓等、住まいに「危険箇所」がないか確認し、対策しておきましょう。

家族で身を守る方法を話し合っておきましょう!
勤務先や学校等への外出時に被災した時の、連絡方法等について確認しておきましょう。

津波に備えましょう!
避難場所をあらかじめ確認しておきましょう。海岸沿いで強い揺れや長時間の揺れを感じた時や、大津波警報・津波警報・津波注意報が発表された時は直ちに避難場所や高台などに避難しましょう。 **もご確認ください**

職場や外出先等での地震に備えましょう!
長時間にわたって交通機関が動かなくなり、帰宅困難者になる可能性があります。
徒歩での帰宅経路をあらかじめ確認し、職場等に防災用品を準備しておきましょう。

地震に備えて、今私たちにできることについて詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】
地震防災チェックシートについては県危機管理防災課 ☎045(210)5945 FAX045(210)8829/
マイホームの耐震化全般については県建築安全課 ☎045(210)6257 FAX045(210)8884/
マイホームの耐震化に関する補助制度については県消防保安課 ☎045(210)3444 FAX045(210)8829

ご家庭の状況等に応じて必要なものを準備しましょう

段ボールトイレ、ラップでできる応急手当て、 タオルで作る防災頭巾などなど、 生活者目線から生まれた防災の知恵

「家」庭の中からの防災」を基本に女性防災クラブ平塚パワーズは、防災の知恵を地域や学校などを訪れてお伝えしてきました。身近にあるものを防災や減災に生かす、段ボールトイレの発想は被災地に届く支援物資の多くが段ボール箱に入っていることを知り、これなら材料に使えようと考えたからです。防災の知恵を知っていれば、命を落とさなくて済みます。タオルの防災頭巾、被災時の応急手当てや調理・・・どのアイデアにも祖母や親たちから聞いた関東大震災や戦災などの苦難を乗り越えてきた経験が生かされていると感じます。世代を超えて受け継がれてきた先人の知恵を、できるだけ多くの方に伝えていきたいですね。

女性防災クラブ平塚パワーズ 会長/神奈川県防災会議委員

すがの ゆみこ
菅野 由美子氏

女性防災クラブ平塚パワーズ
阪神・淡路大震災を契機に、有志の女性約30人で立ち上げられたボランティア団体。平塚市内にとどまらず、県内外で防災啓発を行う。「防災功労者内閣総理大臣表彰」「防災まちづくり大賞」などを受賞。

『防災減災パワーズブック』で
さまざまな防災アイテムを詳しく紹介しています。



おがわ ひろこ 小川 弘子氏 副会長
すがの ゆみこ 菅野 由美子氏 会長/神奈川県防災会議委員
きむら みえこ 木村 美江子氏 副会長

ぼうさいこくたい
2023に登壇

津波から身を守るために

地震発生から数分で押し寄せられることもあります。
①津波ハザードマップや津波情報看板などで、自宅や勤務先周辺の浸水予測や避難場所、避難経路、津波の危険地域を確認しましょう。

津波ハザードマップについて
詳しくはこちら



津波避難ビル
津波に対して安全な避難場所(津波避難ビル)を表示

津波避難場所
津波に対して安全な避難場所(高台)を表示

津波注意
津波が来襲する危険のある地域を表示

②海水浴場や海岸付近で強い揺れや長時間の揺れを感じたり、津波フラッグを見かけたら、すぐに海から離れ、高台や津波避難ビルなどに避難しましょう。

津波フラッグ
海水浴場や海岸付近で、大津波警報・津波警報・津波注意報が発表されたことを知らせます。

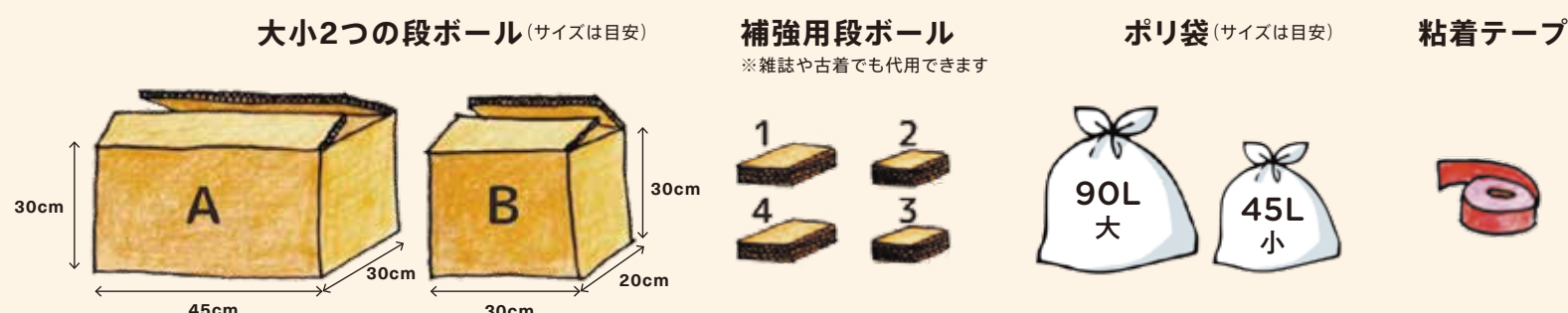


A 段ボールトイレの作り方

作り方・使い方について詳しくはこちら



用意するもの



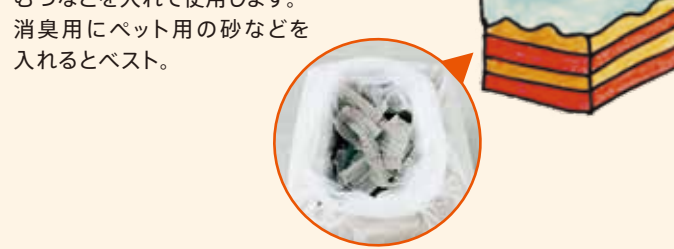
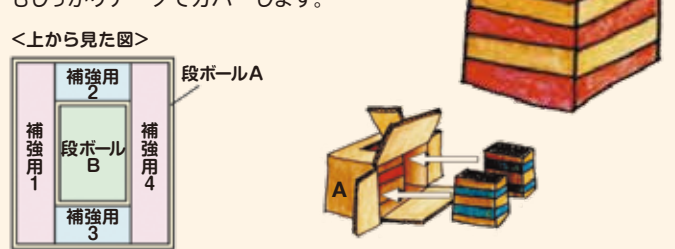
1 Aを横向きに置いてBの大きさに合わせて印をつけ、短い方の一端を残して5mm内側を切って、便座とふた部分を作ります。

2 Bのふた部分は粘着テープで外側に固定し、奥に補強用段ボール1を入れてからBをAの中に入れます。



3 AとBの隙間のサイズに合わせた補強用段ボール2~4を粘着テープで巻いて詰めます。Aを閉じ、しっかり粘着テープで補強します。段ボールは水に弱いので、便座部のふた部分もしっかりテープでカバーします。

4 ポリ袋大を全体にかぶせ、内側にポリ袋小をセット。水分を吸収しやすくするため、小の袋に新聞紙をちぎったものや紙おむつなどを入れて使います。消臭用にペット用の砂などを入れるとベスト。



B ラップでできる応急手当て

キッチン用ラップの内側は空気に触れていないのでとても清潔。災害時のけがの手当てに使えます。

包帯代わりになります。
腕をつけることも可能!



C 避難タオルの使い方

バスタオルにタオルなどを仕付け糸で縫い付けたグッズ。非常用持出品を収納でき、折り畳むと頭巾にもショルダーバッグにもなり、避難所では枕代わりに使えます。

靴下
歯ブラシを入れておくのもおすすめ。

収納例

すぐ取り外せるように
仕付け糸で縫い留めています



ポケット型
薬や身分証明書のコピー、マスク、耳栓など自分にとって必要なものを入れます。

軍手
指先には小銭を入れておくと安心。

いつ起こるか分からない災害に備え、 県総合防災センターで災害を疑似体験!

地震・風水害・消火・煙避難体験コーナーなどがあります。
●交通:小田急線・愛甲石田駅からバスで「長沼」下車徒歩5分
●所在地:厚木市下津古久280 ☎046(227)1700
●開館時間:9時~17時(入館は16時30分まで※体験コーナーをご利用の場合は16時まで)
●休館日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土曜または日曜の場合は開館)、年末年始

詳しくはこちら



震度
7
体験中

ぼうさいこくたい2023 次100年への備え ~過去に学び、次世代へつなぐ~

今年、関東大震災の震源地である神奈川県で開催されます。防災について学ぶさまざまな企画が盛りだくさん!ぜひお越しください。

- 日時:9月17日(日)10時~18時、18日(月・祝)10時~15時30分
- 場所:横浜国立大学(横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1) ※一部オンライン配信
- 交通:市営地下鉄・三ツ沢上町駅から徒歩16分(当日は横浜駅西口から会場までシャトルバスあり)
- 内容:防災グッズ作り、防災クイズ、防災関係車両の展示、スタンプラリー、パネルディスカッションなど



主催:防災推進国民大会2023実行委員会



【上記記事に関する問合せ】 県危機管理防災課 ☎045(210)5945 FAX045(210)8829

「ビッグレスキューかながわ」を見に行こう!

関東大震災と同規模の地震を想定した、消防、警察、自衛隊、在日米軍、医療関係機関などが参加する大規模な訓練を見学できます。展示・体験コーナーもあります。

- 日時:10月15日(日)9時~12時 展示・体験コーナーは10時~14時
- 場所:末病バレー「ピトピア」(大井町山田300)ほか
- 交通:小田急線・新松田駅や大井町役場などから会場までシャトルバスあり ※車での来場はできません

詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】 県危機管理防災課 ☎045(210)3433 FAX045(210)8829

かながわの文化を楽しむ、伝統に触れる。

伊勢原市指定重要文化財

大山火祭薪能

日程:10月3日(火)・4日(水)

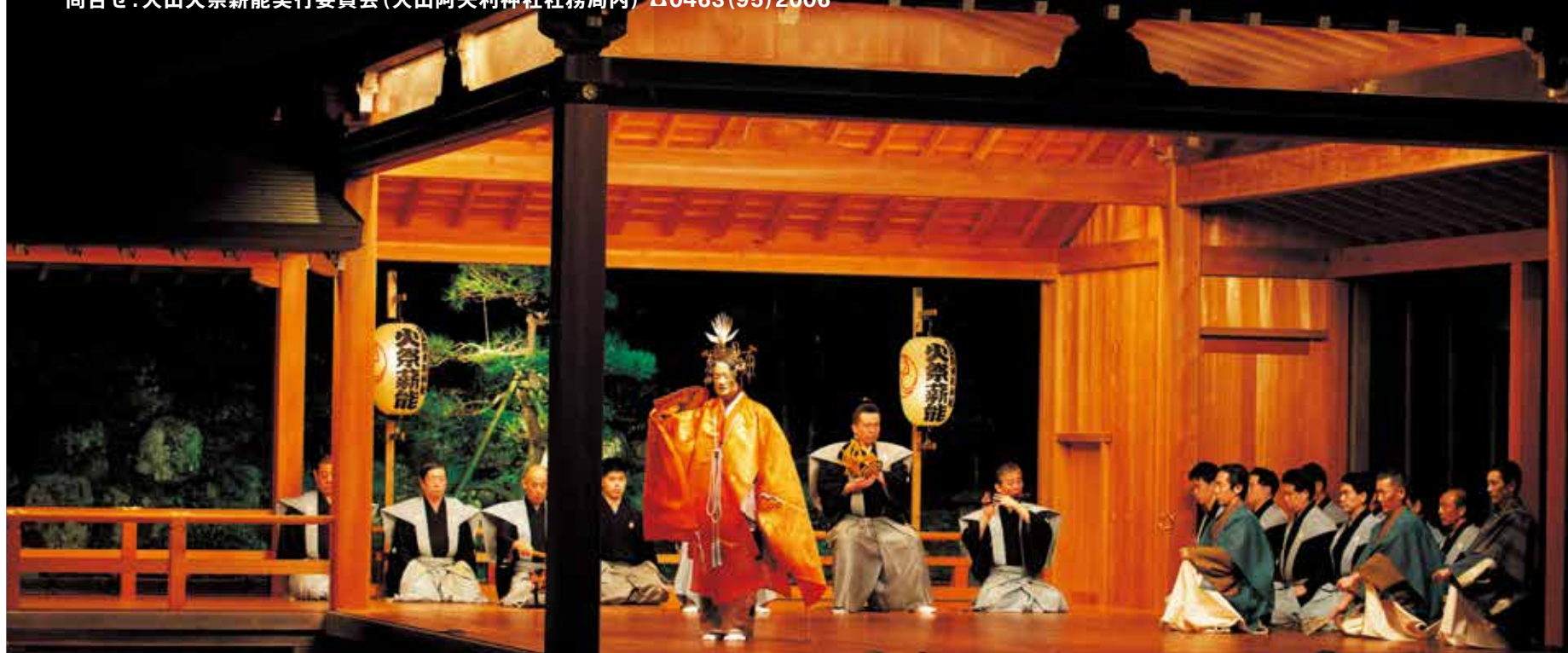
場所:大山阿夫利神社社務局 能楽殿 (伊勢原市大山355)

かながわ県民文化祭の参加プログラムの一つで、神事芸能の舞台です。秋深まる大山で、かがり火が照らす野外舞台で演じられる能狂言が観客を幽玄の世界へいざないます。

※9月11日からチケットの申込みが可能です。

問合せ:大山火祭薪能実行委員会(大山阿夫利神社社務局内) ☎0463(95)2006

詳しくはこちら



かながわ県民文化祭2023開催!



心躍る、花開く、新たな文化

文化の日を中心とした9月~12月に開催します。期間中、さまざまな文化芸術活動が県内各地で行われます。ぜひご参加ください。

詳しくはこちら



第58回神奈川県美術展

全国から作品を募集し、県内最大規模で開催される美術展です。中高生特別企画展、障がいのある人たちのアート活動を中心とした「ともいきアート展」も同時開催します。

- 日程:1期展[平面・立体] 9月6日~17日
2期展[工芸・書・写真] 9月20日~10月1日
- 場所:神奈川県民ホールギャラリー

【上記記事に関する問合せ】県文化課 ☎045(210)3808 FAX045(210)8870

国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産登録

山北のお峰入り

日時:10月8日(日) 9時10分 開始

場所:山北町立川村小学校グラウンド (山北町山北1002)

約 80人の男性が行列を組んで練り歩き、8種11演目からなるさまざまな歌や踊りを披露します。「風流踊(ふりゅうおどり)」と呼ばれる民俗芸能の一つです。※要申込み、有料席もあり

県ゆかりの伝統文化を新しい発想で活用し、現代を生きる文化芸術として再(Re:リ)発信する「カナガワ リ・古典プロジェクト in 山北」も同時開催します。

詳しくはこちら



小田原市指定重要文化財 そがべっしょ ことぶきしまい 曾我別所の寿獅子舞

獅子にひょっとこ等を絡ませる独自の演出が楽しめます。宗我神社の祭礼では、お囃子を奏でながら五基の山車が集まります。

- 日時:9月24日(日) 12時開始
- 場所:宗我神社(小田原市曾我谷津386)
- 交通:JR下曾我駅から徒歩10分

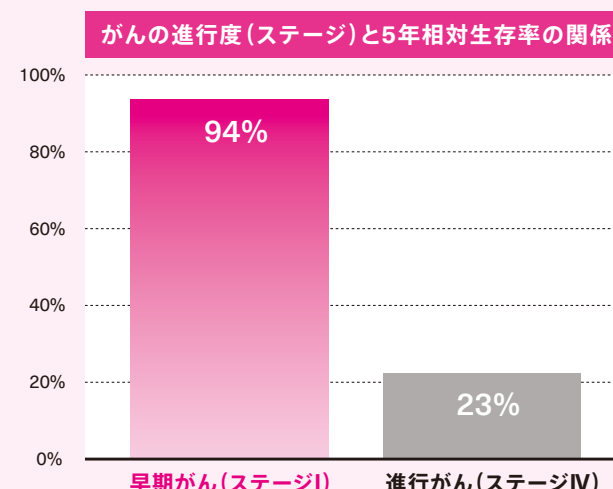
平塚市指定重要文化財 さきどり 前鳥神社祭事

神輿宮入神事、おかめとひょっとこの神楽「前鳥さきどり里神楽」の公演などが楽しめます。

- 日時:9月28日(木) 10時開始
- 場所:前鳥神社(平塚市四之宮4-14-26)
- 交通:JR平塚駅からバスで「前鳥神社前」下車徒歩3分

【上記記事に関する問合せ】県文化遺産課 ☎045(210)8351 FAX045(210)8939

最近いつ、がん検診を受けましたか?



出典:(公財)がん研究振興財団「がんの統計2022」全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率(2011~2013年診断例)

やがんは、日本人の2人に1人がなる時代です。がんが早期に見つかった場合と進行してから見つかった場合では、5年後の生存率に約70%の差が生じます。

▼がん検診の種類 国は、5つのがん検診を有効な検診として推奨しています。

乳がん 40歳以上 女性 2年に1回	子宮頸がん 20歳以上 女性 2年に1回	胃がん 50歳以上 男女 2年に1回*	大腸がん 40歳以上 男女 1年に1回	肺がん 40歳以上 男女 1年に1回
--------------------------	----------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------

※ただし、胃がんは40歳以上男女が1年に1回受診可能な検査もあります

健康だと思っているあなたが受診対象です

市町村のがん検診
問合せ先はこちら



ピンクリボンライトアップ2023 in かながわ

10月1日~31日に、乳がん検診の普及啓発のため、県内各地をピンク色にライトアップします。フォトコンテストも開催しますので、ぜひご応募ください。

その他のイベントは👉へ

詳しくはこちら

【上記記事に関する問合せ】県がん・疾病対策課 ☎045(210)4780 FAX045(210)8860

夏休み明け「学校に行きたくない…」と言われたら

子どもの思いを聞いてみましょう。まずは学校に相談を。ご家族の不安な気持ちはこちらでもお聞きします。

かながわ子ども・若者総合相談センター

不登校やひきこもり、非行など、子どもや若者のさまざまな悩みについての相談をお受けしています。相談は無料。匿名での相談も可能です。秘密は厳守します。

☎045(242)8201

受付時間:9時~12時/13時~16時
※月曜・年末年始を除く

LINEでも
相談できます



不登校相談会・進路情報説明会

県教育委員会・各市町村教育委員会とフリースクール等による個別相談会を行います。

詳しくは👉へ

フリ・フリ・フェスタ2023

フリースクールやフリースペースによるフェスティバルを開催します。



【上記記事に関する問合せ】県立青少年センター青少年サポート課 ☎045(263)4467 FAX045(241)7088 / 不登校相談会・進路情報説明会については県子ども教育支援課 ☎045(210)8292 FAX045(210)8937

「学校に行きたくない」そう言われたら、やっとの思いで言葉にした子どもの心に共感し、「よくここまでやってきたね」とほめてあげてください。焦らずに一緒に親子で考えていく時間をつくりましょう。フリースクールやフリースペースという選択肢もありますよ。



NPO法人 フリースクール
鈴蘭学園 理事長
なかむら なるみ
中村 鳴美さん

「彼岸の季節」

(写真: 南足柄市・石井 良二さん)

南足柄市内を流れる狩川の堤防に生えている彼岸花は、川の流れによく似合います。
(令和4年9月撮影)

■場所: 狩川(南足柄市)



編集/発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111(代表)
☎045(210)3662 FAX 045(210)8834



県公式X(Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は8月15日時点の内容であり、変更になる場合があります

1 923(大正12)年9月1日に発災した関東大震災は、関東地方を中心に甚大な被害をもたらしました。一方で、復興の過程で現在につながる都市の骨格が形作られました。県立歴史博物館の旧館部分である旧横浜正金銀行本店本館は、関東大震災をくぐり抜けてきた生き証人です。大災害に直面し、不安を抱えつつ安心を得ようとした人たちの姿に迫る本展覧会をぜひご覧ください。

- 会期: 9月18日(月・祝)まで ●開館時間: 9時30分~17時(入館は16時30分まで) ●休館日: 月曜(9月18日は開館)
- 観覧料: 一般900円、20歳未満・学生600円、65歳以上200円、高校生100円、中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料
- 所在地: 横浜市中区南仲通5-60 ●交通: みなとみらい線・馬車道駅から徒歩1分

詳しくはこちら



特別展

関東大震災

— 原点は100年前 —
THE GREAT KANTO EARTHQUAKE OF 1923



震災後の横浜正金銀行本店



現在の県立歴史博物館

【上記記事に関する問合せ】 県立歴史博物館 ☎045(201)0926 FAX 045(201)7364

ともに生きる

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

ともに生きる

vol.47

バトーン

＼ 今月は、県立よこはま看護専門学校やまゆり祭実行委員会の皆さんに伺いました! /

学校祭で「ともに生きる」を体験

私たちは7月の「やまゆり祭」(学校祭)を「ふれ愛~人を想う~」というテーマで実施しました。当事者の目線に立った取り組みをしたいと考えて、県ライトセンターで視覚障がい者の方へのサポートの方法についてお話を伺ったことをまとめて発表したり、近隣の障がい福祉サービス事業所で作業を体験して、学校祭当日には利用者の方と一緒に、体験で作った小物などの販売も行いました。障がい者の方々と直接交流したことで、学校祭のテーマも実現できたと思います。これからも「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念を大切に、自分たちにできることを考えながら、保健・医療・福祉等の現場で活躍する看護師を目指していきます。



県立よこはま看護専門学校の皆さん



県立よこはま看護専門学校
やまゆり祭についてはこちら

ともに生きる社会 かながわ憲章

平成28年10月14日 神奈川県

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

〇〇に入る言葉を教えてください。
クイズに正解した方の中から抽選で30名の方にプレゼント!

「ともに生きる社会かながわ〇〇」

正解者の中から、有限会社フクゾー洋品店とコラボレーションした「かながわりスペクトミニタオル」をプレゼントします。☎かはがきで住所、氏名、電話番号とクイズの答えを明記し、9月1日~29日に〒231-8588県共生推進本部室共生企画グループ(所在地省略可)あてにご応募ください。応募はこちら



※個人情報適切に管理し賞品の発送のみに利用、当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

【上記記事に関する問合せ】 県共生推進本部室 ☎045(210)4961 FAX 045(210)8854